

## 文章を読む力は学力の基本

わたしは、おかあさんがたから、よくこんな相談を受けます。

「先生、どうもうちの子は、そそっかしいので困っているんですよ。このあいだのテスト、あんまり成績が悪いんで、わたしが読んでやって、やらせてみますと、ちゃんと、みんなできるんですよ。ほんとうに先生、こういうそそっかしい子どもは、どう指導したらいいんでしょうか」

たいていのおかあさんが、先生に相談しないまでも、こんなことは、一度や二度、きっとお考えになったことがおありだと思います。でも、これは、世のおかあさんがたが考えるように、その子どもだけが、とりわけそそっかしいのではありません。おかあさんが問題を読んでやれば、問題を解く力はあるので、ちゃんとできるのです。学校でできないのは、だれも読んではくれなかったので、問いの意味がわからなくて、できなかったのです。

文章を読む力は、このように、どんな学習にも欠くことのできない、基本的なものなのです。

## 漢字の力が学習を能率的にする

わたしは、いままでに何回も、一年生、二年生という小さな子どもを受け持ってきて、漢字がしっかりと読み書きできる子どもは、どんな学科でも、かならずよくできるということを経験してきました。このことは、どの先生も認めているところです。しかし、飯泉先生のお話をうかがうまでは、中学生までがそうだ、とは思ってもみませんでした。

でも、よく考えてみれば、これはあたりまえのことです。漢字の読み書きがよくできないようでは、他のどんな学科でも、学習をすらすらやることができず、時間ばかりかかって、能率が上がらないわけです。